

## 指定管理者評価表

様式1

## 1 基本情報

<b>(1) 公の施設の名称</b>	
堺市立農業公園 (交流施設)	
<b>(2) 施設の設置目的</b>	
農業と自然に触れ、親しみ、学ぶ場を提供し、もって農業の振興及び市民文化の向上に資するため設置	
<b>(3) 所管部局</b>	
産業振興局 農政部 農水産課	
<b>(4) 指定管理者名</b>	
堺市農業協同組合	
<b>(5) 指定期間</b>	
平成26年4月1日から平成31年3月31日まで (5年間)	
<b>(6) 主な事業</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の運営に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置に関すること</li> <li>・農産物直売所の運営に関すること(出荷物の生産計画及び出荷調整に関すること、出荷物の受入・販売に関すること、商品の仕入、販売に関すること、出荷者への支払いに関すること)</li> </ul> </li> <li>○施設の維持管理に関する業務</li> <li>○自主事業の計画、実施</li> </ul>	
<b>(7) 有料施設の有無</b>	
有(利用料金制)	
<b>(8) 公募・非公募の別</b>	
<p>非公募 (非公募の理由)</p> <p>堺市立農業公園の中核施設である「交流施設」は、本市の農業振興を目的として設置した施設である。</p> <p>堺市農業協同組合は、本市と密接に連携して農業振興に努めており、直売所の運営は開設当初より堺市農業協同組合が農産物直売のノウハウを持って経営を行ってきた。</p> <p>また、その組織力を活かして生産農家の拡充と生産農産物の安全・安心を確保するための生産履歴簿の記帳や栽培、出荷、販売指導を行うことにより、地元農産物の取扱品目及び数量の拡大、生産農家所得の向上・安定を図っている。「堺のめぐみ」ブランドの定着化や生産拡大を図るとともに、魅力ある農業を振興し、多様な担い手の育成、地産地消の拠点として、安全・安心・新鮮な地場農産物の販売に努めてきたことよって着実に事業実績を積み重ねてきた。</p> <p>なお、平成21年12月、駐車場に開設した大型の新農産物直売所は、建物を堺市農業協同組合から本市に寄付を受けたものである。</p> <p>また、農業公園の管理運営に当たっては、堺市と株式会社ファーム及び堺市農業協同組合が経営参画する法人を設立し、互いに連携協調し事業を推進してきた経緯がある。</p> <p>本施設は農産物直売所という特殊性、上記のような施設の設置・運営経緯及び平成18年度からの指定管理者としての運営実績を勘案すれば、堺市農業協同組合を指定管理者として更新するのが最も適切であり、他の団体ではこのような管理運営は望めないものとする。</p>	
<b>(9) 主な利用者</b>	<b>(10) 市内における受益対象者数</b>
都市住民	不特定多数
<b>(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標</b>	
道の駅「いずみ山愛の里」 J Aいずみの「愛彩ランド」 J A大阪泉州「こーたりーな」 J A大阪南「あすかてくるで」	

## 2 管理運営状況

## (1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

食品に関する事故防止のため、対応マニュアルを策定した。また、生産者を対象に生産履歴記録簿の記帳及び農薬使用方法の研修会を開催し、生産農家への指導を実施したことで、農産物の品質維持及び安全確保に努めていた。

## (2) 利用者サービス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指定管理者名	堺市農業協同組合	堺市農業協同組合	堺市農業協同組合	堺市農業協同組合	堺市農業協同組合
ア 利用者数 (人)	227,675	225,629	227,530	210,754	/
イ 稼働率 (%)	-	-	-	-	
ウ 利用者満足度 (%)	-	-	-	-	
「利用者サービス」における市による状況分析	食品に関する事故防止のため、対応マニュアルを策定した。また、生産者を対象に生産履歴記録簿の記帳及び農薬使用方法の研修会を開催し、生産農家への指導を実施したことで、農産物の品質維持及び安全確保に努めていた。また、堺市立農業公園「加工体験施設」指定管理者と連携し、ソーセージ、ヨーグルトなどを販売し、利用者に喜ばれた。				

## (3) 収支状況(単位:円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
ア 収入	指定管理料	11,840,000	11,878,000	11,288,000	11,317,000	11,280,000
	利用料金	194,820,349	180,476,143	181,984,090	164,112,171	167,500,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	3,582,634	3,350,918	3,104,965	2,731,369	3,860,000
合 計		210,242,983	195,705,061	196,377,055	178,160,540	182,640,000
イ 支出	人件費	61,373,438	59,384,042	61,476,293	57,747,239	60,005,000
	委託料 ( )内は総支出額に占める委託料の割合	2,821,542 (1.3%)	3,440,124 (1.7%)	4,025,385 (2.1%)	3,614,218 (1.9%)	4,585,000 (2.5%)
	その他経費	20,725,749	21,161,210	20,600,551	21,618,270	18,050,000
	売上原価	124,706,021	114,676,730	109,589,994	103,623,392	100,000,000
合 計		209,626,750	198,662,106	195,692,223	186,603,119	182,640,000
利用者一人当たりの支出額		921	880	860	885	-
ウ 収支差額		616,233	-2,957,045	684,832	-8,442,579	0
エ 市への納付金の額		-	-	-	-	-
オ 徴収委託の場合の徴収額		-	-	-	-	-
「収支状況」における市による状況分析		平成29年度収入は、前年度と比較して減少した。その原因として、平成29年10月の台風の影響により約3週間、臨時休業したことが考えられる。しかしながら、営業再開以降売上げの大幅な落ち込みは見られず、収入の減少を最小限にとどめることができた。				

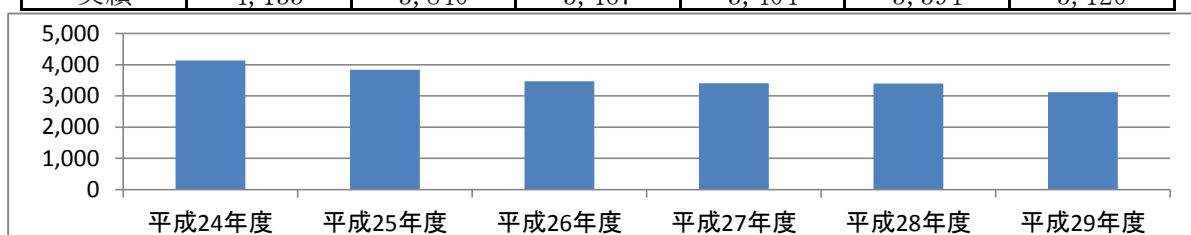
### 3 目標管理、評価等

#### (1)適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	生産履歴記帳簿	(設定理由) 生産履歴記帳簿の提出及び検証により安全、安心を確かなものにする。
	目標	生産履歴記帳簿のチェック数の増加	(設定理由) 出荷農産物の品種・出荷の増加
	実績	3,120件	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 前年度実績対比91.9%となる。

(単位:件)

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実績	4,135	3,840	3,467	3,404	3,394	3,120



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	食品事故防止のため対応マニュアルを策定し、また生産者を対象に生産履歴記帳簿の提出及び農薬使用方法の研修会を開催し、生産者の教育指導を行う等、農産物の安全確保に努めていた。
---------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	事故・苦情に関しては、消費者に誠意をもって対応し、適切に行われていた。
-----------------------	-------------------------------------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	B	B
	具体的な理由	大阪エコ農産物泉州さかい育ちの生産履歴を併用できるようになってからチェック数が減少している。	食品に関する事故防止のため、対応マニュアルを策定した。また、生産者を対象に生産履歴記録簿の記帳及び農薬使用方法の研修会を開催し、生産農家への指導を実施したことで、農産物の品質維持及び安全確保に努めていた。	
対応策等	出荷者登録者は毎年増加しているため、30年度からは増加に転じる予定。	安全、安心、新鮮な堺産農産物である「堺のめぐみ」をより一層提供できるよう体制強化に努めている。		

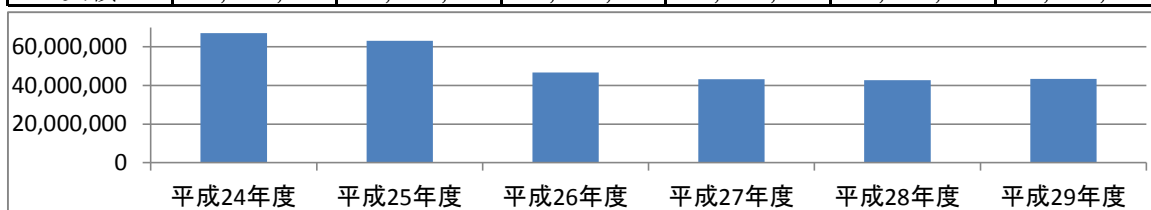
評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	米の10%割引販売	(設定理由) 利用者還元
	目標	米の10%割引販売の増加	(設定理由) 消費者に堺の農業と地場農産物のすばらしさを伝えるため。
	実績	43,401,914円	(分析) 地元産米の販売高の増加ならびに消費者のニーズに沿った販売銘柄の充実により前年度を上回る結果(前年比101.4%)となった。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

(単位:円)

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実績	67,186,546	63,190,488	46,788,394	43,267,784	42,798,000	43,401,914



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	野菜ソムリエの資格を持つスタッフによる旬の「堺のめぐみ」を使用した試食会(毎月1回先着300名)の開催をはじめ、各区民まつりへの出店やJA堺市五箇荘支所での移動販売など認知度向上に努めた。
------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	事故、苦情に関する対応は、消費者に誠意をもって対応し、適切に行われていた。
-----------------------	---------------------------------------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価
	評価	A	
	具体的な理由	地場産米が大量確保可能となり同時に米の販売を強化していることが米の販売増につながった。	農業公園「加工体験施設」指定管理者と連携し、相互に割引券を発行するなど、利用者サービスの向上に努めている。また、地元米の割引販売を定期的に行い、確実な利用層をつくるなどの集客向上に努めていた。
対応策等	他府県産米の仕入の抑制を行うことで、地場産米販売を優先した。	JAの組織力を生かし農業者との連携を図り、地元産米の確保に努め、定期的に米の割引販売をすることで、リピーターを確保し、売上の確保に努めている。	

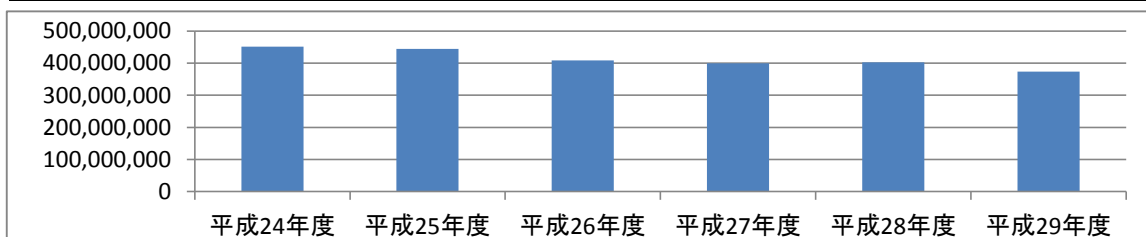
評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	農産物直売所売上額	(設定理由) 健全な経営を遂行する指標
	目標	4億4,000万円	(設定理由) 利用者22万人で客単価2000円で設定
	実績	373,730,695円	(分析) 達成率は84.9%、売上額373,730千円、前年度対比92.7%(29,112千円減)。台風被害による長期休業が影響し売上げが減少したものの、営業再開以降売上げの大幅な落ち込みは見られない。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

(単位:円)

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実績	451,703,434	444,404,312	408,471,622	398,979,360	402,842,058	373,730,695



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	直売事業における品目ごとの収入内容や、仕入れ、経費内訳など詳細な記録管理が徹底されている
------------------------------------	----------------------------------------------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	利用者のニーズに合った店舗づくりを目指すため、アンケート調査を実施したことは、今後の管理運営に反映できるものと評価できる。
-----------------------	---------------------------------------------------------------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	10月～11月の長期休業が影響し、前年を大きく下回る結果となった。しかし、地元産農産物の下落率を最小限に抑えることができた。	台風による臨時休業があり、売上高373,730千円(対前年度比92.7%)と減少した。しかしながら、営業再開以降は売上げの大幅な落ち込みは見られず、地産地消の推進に努めていたことは評価できる。		
対応策等	(月・金曜) 農業公園入園割引券進呈、(火曜) 切り花半額セール、(木曜) 米 10%引きなど平日の集落対策の強化と新規加工品の品揃え強化を実施	利用者へ地産地消に関するアンケート調査等を実施し、消費者のニーズにあった商品の充実に努めている。農家との連携を強化し、地元農産物の出荷増大を進めるよう期待する。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80～100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの